

「チャレンジする中小企業アシストする中小企業診断士」

診断かがわ

2011年 夏季号 NO. 57号

(平成23年9月1日発行)

[主要目次]

- ◆ 山下支部長のごあいさつ・・・1
- ◆ 第27回通常総会報告・・・2
- ◆ 各事業部の抱負・・・3
- ◆ 平成22年度調査・研究事業
 公開セミナー報告・・・5
- ◆ 新入会員自己紹介・・・7
- ◆ 会員だより・・・8
- ◆ 診断士の友達の輪・・・9
- ◆ 後継経営者養成講座(案内)・・・11



第27回通常総会

社団法人中小企業診断協会香川県支部

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センター402号

TEL 087-840-0370 FAX 087-840-0321

発行人	支部長	山下	益明
編集人	広報部	梅澤	秀樹
〃	〃	立川	敦史
〃	〃	小島	仁



組織移行、香川県支部の動きについて

社団法人中小企業診断協会香川県支部
支部長 山下 益明

平素は支部活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて6月21日、東京都中央区の銀座フェニックスプラザ(紙パルプ会館)で開催された診断協会の本部総会に参加いたしました。

開会宣言の後、東日本大震災被災者への黙とう、議案審議などが行われ、全議案が承認されました。

また任期満了に伴う役員改選では、新理事として50名が選ばれ、新会長に現大阪支部の支部長である福田尚好氏が選任されました。

そして、審議の中で最も時間を割いたのが、公益法人制度改革に関する議案です。結論としては、各都道府県支部と本部の連合会化となります。この経緯について、少しご説明いたします。

国の公益法人制度改革に伴う組織移行について、現在の社団法人は「公益社団法人」か「一般社団法人」へ移行する必要があります。診断協会の方向性を本部のプロジェクトが熟考し、来年4月から「一般社団法人」となることを選択しました。

その結果を受けて全国各県支部の組織は、連合会型(各県の診断協会はそれぞれ独立した団体であり、本部に加盟するというもの)となることも決まりました。組織移行に関する流れについては、認可申請の進め方から、先に連合会化した後に一般社団法人になる予定です。

組織移行にまつわる香川県支部の動きについて、まずは8月20日に「平成24年度以降の組織体制等に関する説明会」を開いた後、臨時総会(9月1日)を開催し、会員の皆さまのご意向を諮ります。その決定を受け、9月23~24日に「組織運営検討合宿会議」を行います。この合宿会議は理事が中心となり検討いたしますが、会員の皆さまのご意向も反映させるため多数ご参加いただければと思う次第です。

今後は香川県の一法人として、より魅力のある組織を整えてまいる所存です。引き続き、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆さま方のますますのご健勝とさらなるご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

香川県支部「第27回通常総会」報告

社団法人中小企業診断協会香川県支部
理事 梅澤 秀樹

第27回通常総会が平成23年5月28日(土)18:00より、サンポートホール高松55会議室において行われました。参加者は支部総会員数42名中出席18名、委任状出席16名でした。

定刻、山下支部長が議長となり、議事録署名人に小島 仁先生、吉本 和巨先生の2名を指名、下記の議案書を審議し、原案どおり承認可決されました。

- 第1号議案 平成22年度事業報告書、収支計算書および貸借対照表承認の件
各担当理事より、議案書に基づき朗読説明があり、議長より採決の結果、原案どおり満場一致で承認可決されました。
なお、白井監事より会務の執行および会計監査の結果、いずれも適正である旨の報告がありました。

- 第2号議案 平成23年度事業計画(案)および収支予算書(案)承認の件
各担当理事より、平成23年度の事業計画(案)および収支予算書(案)の朗読説明があり、議長より採決の結果、満場一致で承認可決されました。

- 第3号議案 理事および監事任期満了により改選の件
議長は本総会で、理事および監事任期満了のため改選の件を述べ、役員の数数は理事8名、監事1名と決定。その選任を諮ったところ、会員中より推薦委員を設けてはどうかという提案があり、議長は推薦人に正木 利明、久保 敏機、筒井 健吾、3名を指名いたしました。
委員は別室で選考を行い、下記の結果を議場に報告、議長より採決の結果、満場一致で承認可決されました。
その後、被選者から就任につき承諾を得ました。

(敬称略)

理事 岩倉 正敏、梅澤 秀樹、笠居 昭司、川上 実、小島 仁、
立川 敦史 村上 潔、山下 益明
監事 白井 重雄

なお、別室で理事会を開催し、支部長 山下 益明、副支部長 村上 潔、常任理事 岩倉 正敏を選任した旨の報告がありました。

また、理事会の推薦を経て、支部長が相談役に高木 不二麿を指名いたしました。

そのほか、8月20日の理論政策更新研修の前に社団法人の移行説明会、9月1日に臨時総会、9月23~24日に移行についての理事の合宿会議を開催すること等の説明が山下支部長よりありました。

以上

各事業部の抱負

■登録更新事業部

理論政策更新研修が、8月20日（土）に開催されました。例年どおり四国経済産業局の中小企業課長により、新しい中小企業施策についての講義がありました。さらに本年度は、「企業ドック実践マニュアル」に関する講義を、東京から小林勇治氏を招聘して実施しました。

担当 村上 潔

■会員事業部

本年度も前年度同様、会員事業部の担当をさせていただきます。公益法人法改正に伴い、大きな変革が予想される当年度ですが、会員診断士の方々のお役立ち度を高める基本姿勢には変わりありません。微力ではございますが、精一杯努めさせていただきます。

担当 岩倉 正敏

■広報事業部

中小企業診断士を取り巻く環境の変化を周知するとともに、中小企業診断士相互の交流が十分にできるよう、広報を活用してサポートしていきます。具体的には、「診断かがわ」の年2回発行、ホームページの適切な更新を行っていく予定です。

「診断かがわ」につきましては、今までに寄稿いただいていない先生方のご協力を得ながら、一層の充実を図ってまいります。

担当 梅澤 秀樹

広報事業部の担当として、今年度も活動をさせていただきます。中小企業経営が厳しい環境の中、中小企業診断士に求められる活動は多岐に渡ります。広報事業を通して、中小企業診断士としてのあるべき姿、また、会員との情報交換を通じて、業務に関連づけできる広報活動ができるよう活動していきます。今年度もよろしく願いいたします。

担当 立川 敦史

今年度も香川県支部内はもちろん、愛媛県支部や岡山県支部等の他支部との交流や新企画が予定されています。少しでも多くの会員診断士の方々や関係機関にその情報をお伝えし、支部活動の活性化、コミュニケーション促進の一助になれるよう活動してまいります。今年度もよろしく願いいたします。

担当 小島 仁

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT REPORT

■ 研修事業部

今年度は、研修部会としてはあらためて企画立案するまでもなく、既に決まった行事が目白押しです。今年度は来年度からの新体制への過渡期であり、慌ただし1年ではありますが、研修部員として、会員の皆さんに迷惑をかけることがないように、粛々と滞りなく運営を行っていくことに務めていきたいと思っています。

担当 笠居 昭司

研修実施の目的の一つには「視野を広げ、連携を深める」があると思います。この目的の実現のため、さまざまな専門家組織と連携をとりながら研修を行っています。昨年の「ITC かがわ」に引き続き、今年度は、2012年1月に「弁理士会四国支部」の山内康伸先生に知財戦略に関するセミナーをお願いしております。ぜひ参加ください。

担当 川上 実

平成22年度調査・研究事業 公開セミナー報告

社団法人中小企業診断協会香川県支部
理事 川上 実

- 日時：2011年2月26日（土）15：00～17：00
- 場所：サンポートホール高松 63 会議室
- テーマ：「常に前へ！ 現状を打開するチャレンジ経営のヒント」
- 参加人数：25人（会員11人、会員外14人）

1. 公開セミナーの概要

平成22年度の支部調査・研究事業結果（テーマは、県内中小企業の“チャレンジ経営”）を広く皆さまへお知らせするため、公開セミナーを実施しました。

テーマにある“チャレンジ経営”とは、顧客ニーズの開拓、新市場の創造などに果敢に取り組む経営のことです。

今回の公開セミナーでは、調査・研究対象企業のうち3名の経営者に、直接お話をいただきました。

2. お話いただいた経営者とテーマ

- (1) 有限会社井上誠耕園 代表取締役社長 井上 智博氏

・お話のテーマ

「これからの農家は自分たちで商品をつくって売っていかなければならない！」

新たな発想で、自らが栽培した作物には“自らが値段をつけ”、“自らが売っていく”という農業の新たな経営スタイルを確立する。

- (2) 有限会社庵治石彫工房 代表取締役社長 太田 明彦氏

・お話のテーマ

「管理会計導入による業績改善」 ～ 実践なくして成果なし ～

管理会計、ISO9001などを導入し、業務プロセスをしっかりと設定して、決めたことやルールをきちんと実施することにより、旧態然とした業界からの脱却を目指す。

- (3) 塚田木材株式会社 専務取締役 塚田木材株式会社

・お話のテーマ

「新規事業開拓による業績改善」 ～ みんなの笑顔を取り戻せ ～

新規事業として古材販売事業に参入。未だ認知度の低かったニッチ市場に参入することにより、旧態然として先細り業界からの脱却を図る。

※お話しいただいた順番に記載

3. セミナー受講者の感想

セミナー後に行ったアンケートでは、以下のような感想が寄せられました。(抜粋)

- ・「数字を公開し、会社の経営状況を従業員へ公開することにより、経営参画意識の向上、モチベーションアップにつながり、業務改善の原動力になった」という話はとても参考になった。
- ・経営の舵取りの重要性がよくわかった。お金をかけずに、新事業を行うといった誰にでもできないような体験を聞いてよかった。
- ・実際にチャレンジされてきた経営者の方々の話は、興味深く、参考になった。三人三様の内容で面白かった。
- ・企業のトップから直接お話が聞け、経営についての苦労話が聞けた。
- ・気づくこと。その大切さがよくわかりました。生の声を聞くことができて、これからの仕事に生かれます。
- ・太田社長、井上社長のお話から、数値を明確にした経営がいかに大切かをお伝えいただきました。塚田専務からは、あきらめない思い、情熱をお伝えいただきました。また伝え方もリラックスして、わかりやすかったです。



■当日の研修会場

4. まとめ

実施した調査・研究事業の内容をセミナーで広く共有するという試みは、平成21年度、そして平成22年度のこのセミナーで2回目となりました。

なお、調査・研究対象企業の経営者から直接お話を聞くのは、今回が初めてでした。

経営者からお聞きする話は、文章では感じ取れないニュアンスや現場感覚があり、とても参考になりました。また、セミナーご参加の皆様からも高い満足度を得ることができたと感じました。

このセミナーにおける私の気付きは、改めて「実際に話を聞くことにより、文章から得る情報の何倍もの情報を得ることができる」ということでした。

メールや電話、報告書などで情報のすべてを得たような錯覚にとらわれてしまうことが多くあります。セミナーの主旨とは少し違いますが、改めて3現主義（現場、現物、現実）の重要性を認識しました。



新入会員自己紹介

社団法人中小企業診断協会香川県支部
溝渕 善彦（みぞぶち よしひこ）

平成 23 年 5 月に中小企業診断士として登録し、6 月より香川県支部に入会しました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ここに至るまで、通算で 4 年間にわたる家族の協力なしではたどりつけなかったと実感しています。日常のほとんどを仕事や勉強に費やしながらも、わずかな休日もどこに連れていくでもないが文句もいわず、時には資格取得の専門学校への送り迎えをいとわず、多大な費用の支出に対しても理解をしてくれた家族へ感謝の気持ちで一杯です。

そもそも、中小企業診断士を目指したきっかけは、4 年前に遡りますが「企業再生」と題する地方銀行協会での研修への参加でした。研修中に開かれた懇親会での名刺交換では「中小企業診断士」の文字を何枚も目にし、何の基盤も持っていない自分に「これはやばい」とあせりを感じながら、一方で、この資格を目指すことで、これまでの中途半端な自分から変わる機会になるのではないかという期待が湧いていました。それが起点となり、さまざまな「出会い」に支えられ、今日の自分があるというのが実感です。

実は、先日取得した休暇中、「人生がときめく 片付けの魔法」にかかっていた。この数年間、正直なところ、資格取得にむけ何ふりかまわずにいた自分がいました。まわりを見渡せば、ないないといいながらも、いまだに整理できていないモノがあふれている状況。今、ときめくもの以外は「全捨て」の鉄則に従い、ひたすら「捨てるモノ」を選別していました。衣類、雑誌、書籍、取扱説明書のたぐい、段ボール、クリスマスツリー、おもちゃ、電気製品、靴、鞆、キャンプ用品などなど、捨てたものは数しれません。ゴミ袋にして 30 袋以上を捨てたでしょうか。なんで、こんなにあるのか。捨てても、捨てても、まだまだあります。今日は、「紙・布」のゴミの日だったのですが、家とゴミ置き場を 10 往復はしたでしょうか、大量の本と衣類を捨てました。なんか、すごくすっきりした気持ちになって、本当に必要なものとそうでないものがわかり、実は「これから活かせるモノ」を選別していたことに気がつきました。現在、金融機関に勤務する企業内診断士として、お取引先の経営サポートに取り組んでいますが、「片付けは、それまでの過去に片をつけること」であれば、何かしらの関連があると思えています。

今、金融機関に対してコンサルティング機能の発揮が期待されている時であり、金融機関が中小企業を育てるといふ原点への回帰が求められているともいえます。大企業と違い、経営改善への選択肢が限られているため、経営改善を必要としているお取引先に対し、これまでのつながりや地道な活動を通じて、何かしらのソリューションを提供することが求められています。このような中、企業内診断士としての役割は、外部との連携にあると考えています。皆様との関わりを通じて、お取引先の経営改善につながる役割を果たしていきたいと、どうかお力添えをよろしくお願ひ申し上げます。

会員だより

社団法人中小企業診断協会香川県支部
正木 利明

診断協会にお世話になって、10年を迎えようとしている正木です。協会の活動は、総会と更新研修になんとか顔を出しているくらいなのでなじみが薄いと思います。この記事の機会に、市内で（たまに、古馬場あたりでも）ウロウロしていますので、顔をあわせれば気軽に声をかけてください。

生業としては、診断士の資格を持っていますがペーパードライバーでありまして、町工場の社長をやっております。日々の日常について、ONとOFFについて最近思うことをつれづれ書きますのでお目を通していただければ幸いです。

【ON】

創業者でもなく、二代目でもない経営者として強く感じていること。それは、景気の動向による売上げの減少という目の前の頭の痛い問題があります。が、それにも増して企業経営のうえで、経営理念・方針というものがいかに必要であるか身に染みている昨今です。

日々のラインの仕事に忙殺されて企業を、どのように管理運営していくのか、またどの方向にハンドルをきって進んでいくのか明確にすることを疎かにしてしまいがちになっております。そのことによって、いろいろと軋轢が発生しますが、それを解決・処理するのが経営者の役目と、やっと認識した次第です。

【OFF】

趣味というものが今までなく、最近ふとした縁で、ゴルフらしきものを始めました。なにせ今まで学生時代を通して、スポーツとは縁遠いライフスタイルでした。そのせいで（運動神経が多分4~5本切れている）、止まっているボールに、クラブがまともに当たりません。何で、,,,,,,,,,

心優しい方々のお誘いで、コースに連れて行っていただきましたが難行苦行そのものでした。ラウンドを終わってかけていただいたお言葉が（褒めるところを探されたとは思いますが、多分なかったのでしょうか）、「たまには、山のきれいな景色を見ながら歩くのもいいでしょう」でした。当日の私にとっては、周りの景色は目には映っていましたが、それがどうしたの世界でした。歩いたのは、ほんの少しで、クラブを持って走る走る。久々に汗（いろんな汗）をたっぷりとかき、確かに健康にはいいかなと無理やり思い込ませました。スコアはともかく、一緒にラウンドしている方々と世間話などしながらまわれることを夢みている今日この頃です。

皆様お助けを！！！！！！。



診断士の友達の輪 (NO. 2)

社団法人中小企業診断協会香川県支部
中井 由郎

香川県支部の皆様、日ごろは大変お世話になっております。熱心なご依頼を受けましたので、今回は中井が担当させていただきます。

私は香川大学を卒業し、ずっと香川県で働いております。同じように東かがわ市で、地域密着の士業を行っている友人に、紹介文をお願いしました。

中井由郎さんからのご指名により、彼の人となりについて紹介いたします。申し遅れました、私は小川祐樹と申します。中井さんとは大学時代からの付き合いですので、もう知り合って17年となります。

知り合ったきっかけは、大学祭を運営する『大学祭実行委員会』に入ったことでした。硬い名前なのですが、学内の有志で構成される、純然たるサークルです。大学祭の当日運営のみならず、事前に大学内外の団体との調整も行います。

そのような活動の中で、学生を顧客とする企業と接する機会もありました。例えばモバイル機器（当時はPHSでした）や、大手飲料・酒造メーカーに、協賛のお願いに訪問するのです。普段の学生生活では出会わない方々と話し、広告掲載や協賛品の提供をお願いするという営業活動、今思えば本当に貴重な体験をしていたのだと思います。

中井さんは、経理担当として大学祭を裏から支えていました。現職に通じる経験を積んでいたということになります。4日間のイベントですので、学生が扱う金額としては、かなり大きな金額を扱っていましたが、正確だったと聞いております。

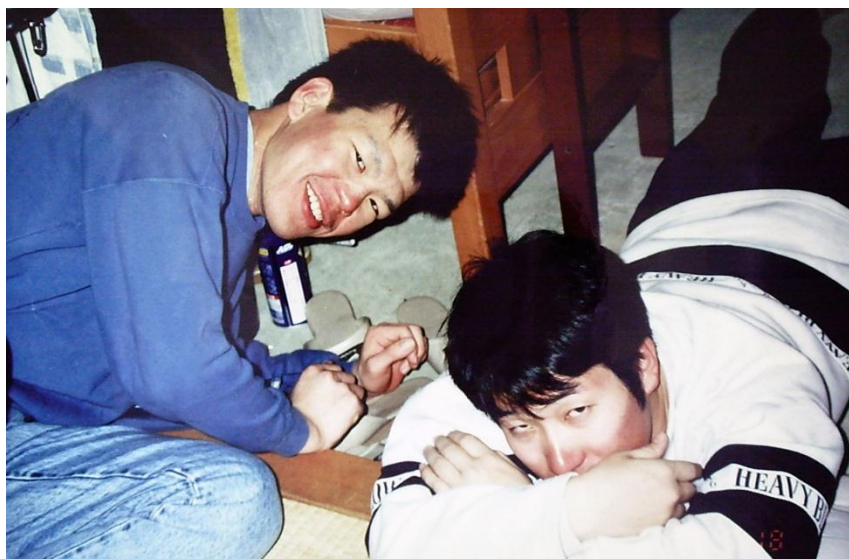
経理担当は、大学祭の当日にこれといった仕事がありません。そこで、ステージ企画の運営もしていました。ご存知の通りひょうきんで、物おじしない中井さんですが、自ら考えた企画に自信がなかったらしく、「雨よ、降れ！」と空に向かって熱心に祈っていたのが印象的です（屋外ステージのため、雨が降るとステージ企画は中止になります）。残念ながら雨は降らず、中井さんはステージ上で、必死に司会をしていました。企画の内容は、本人が語ってくれると思います。

…とまあ、いろいろ書いてきましたが、本当に長い付き合いです。社会人になってからも、うどんツアーに引っ張り回されたり、約束もしていないのに、突然、私の自宅に来たり（まるで小学生！）と、自由奔放で本当におもしろいやつです。診断士の皆様が発行している会報の原稿ということですので、文中は「中井さん」と書いていますが、普段はお互い呼び捨てで、呼び合っております。

中井さんが、「オガワ、自分のことも書いとけ」というので、少し自己紹介をさせていただきます。私は平成21年の夏から、東かがわ市で司法書士事務所を開設しております。何かお力になれることがあれば、お気軽にご用命ください。



■ポスター制作中。まだ、やんちゃな感じです



■スキーに行った時。ゴーグルのせいで、目の周りだけ白

公私ともにお世話になっており、今回も快く引き受けてくださいました。ありがとうございます。士業で独立している彼を見ると、同じ年ながら頼もしく思うことがあります。これからも地域の人のために、さらなる活躍を期待しております。

また、この企画は、担当した本人が楽しい企画です。自分がどのように見られているのか、周囲の意見が聞けて面白いです。ぜひ、皆様も担当してみることをお勧めします。

後継経営者養成講座 2011 年度

経営の「実学」を学び、経営者としての自信とスキルを高める 実践的・具体的な講座です!

自社の事業を継続発展させていくには、将来ビジョンを明確にすることが必要。

- たとえば、貴社では既に、経営に関する後継者はお決まりですか?
 その候補者に対して、適切・具体的かつ実践的な教育を行っていますか?
 「大学の経営学部に行ったから大丈夫」 「経営セミナーに参加した」
 ⇒ 大学では学問について学びますが、経営について厳しい現実を教えてくれません。
 ⇒ 講演会は、精神論や成功・失敗事例を解説するものが多く見受けられます。

…そこで本講座では「**経営の実際**」を知り尽くした【**中小企業診断士**】を講師に、
経営の現場で本当に役立つ手法を学びます。

ね ら い	事業承継を予定されている方(後継経営者)を対象に、「経営」の実際を具体的に学んでいただく講座。経営者としての自信とスキルを高めることで、円滑な事業承継を図るだけではなく、将来的な事業発展の礎となる「知識」と「心構え」の習得をめざします。		
対 象 者	事業承継を予定されている方(後継経営者)		
カリキュラム <small>(※カリキュラム内容は、変更になる場合もあります)</small>	実施日時	会 場	
第1講「経営・管理の基本」	9月10日(土)9:00～ 11日(日)17:00 (合宿研修)	休暇村讃岐五色台 (坂出市大屋富町)	
第2講「計数の基本」	10月9日(日)9:00～17:00	香川産業頭脳化センター第3会議室 (高松市林町 2217-15)	
第3講「マーケティング戦略の基本」	11月6日(日)9:00～17:00		
第4講「人事戦略の基本」	12月4日(日)9:00～17:00		
第5講「財務戦略の基本」 2012年	1月8日(日)9:00～17:00		
第6講「成果発表会」	2月12日(日)9:00～17:00		
講 師	香川県支部所属の中小企業診断士数名		
定 員	12名(予定)		
受 講 料	20万円(消費税別) ※受講料には教材、9月の合宿研修費(宿泊料・食事(4回)・懇親会費用等)、10～2月の昼食費が含まれています		
お申込方法	eメールまたはFAX	お申込締切	2011年8月31日(水曜日)
お申込み お問 合 先	社団法人中小企業診断協会香川県支部 事務局:八木 〒761-0301 高松市林町 2217-15 香川産業頭脳化センター402号 電話:087-840-0370 eメール: mail8@shindan-kagawa.org		

【**中小企業診断士**】とは…経営コンサルタントとして唯一の国家資格であり、中小企業の経営課題に対応するため、診断・助言を行う専門家。香川県支部に所属する中小企業診断士は「**地元企業とともに成長発展する**」をモットーに、さまざまな活動で地域経済活動をサポートしています。



診断かがわ 第57号 (夏季号)

平成23年9月1日発行

社団法人中小企業診断協会香川県支部

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15 香川産業頭脳化センター402号

TEL 087-840-0370 FAX 087-840-0321

ホームページ : <http://www.shindan-kagawa.org/>

メールアドレス : mail8@shindan-kagawa.org

発行人 支部長 山下 益明

編集人 広報部 梅澤 秀樹

“ “ 立川 敦史

“ “ 小島 仁